

2025-2026年度国際ロータリーのテーマ



2025-2026年度国際ロータリー第2690地区メッセージ

「UNITE FOR GOOD」
よいことのために手を取りあおう

2025-2026年度岡山北ロータリークラブのスローガン

元気になることをしよう

2025~2026年度 Rotary Club of Okayama North

Rotary 週報

国際ロータリー第2690地区第10グループ
岡山北ロータリークラブ

事務所 / 〒700-0901 岡山市北区本町6-36 第一セントラルビル6階西F号室
TEL.(086) 222-9590 FAX.(086) 224-4288
E-mail : okayamakita@ok6rc.jp
http://okayama-kita-rc.jp/

例会場 / 岡山市北区駅元町1-5 ホテルグランヴィア岡山
例会日 / 毎火曜日 12:30~13:30

理事・役員

2025.7~2026.6

会長	高 島 浩
副会長	上野山 剛
幹事	砂田 信
副幹事	宮井 達
会計	岸本 浩
S.A.A.	岸本 宅
副S.A.A.	磯 島 司

会員増強・退会防止(理事)	馬 場 幸 三
広報(理事)	山 野 雅 己
奉仕プロジェクト(理事)	永 廣 景 郎
ロータリー財団(理事)	磯 島 本 洋
クラブ3年計画	牧 杉 米 真
親睦活動	高 橋 樹
プログラム	上野山 茂
直前会長(理事)	
次期会長	

モバイルサイトへのアクセスはQRコードをご利用ください。(岡山北RCホームページ)



きょうのプログラム

「退任挨拶「一年を振り返って」」

会長	高 島 浩	会員
幹事	砂田 信	会員
副会長	上野山 剛	会員

次回7月7日のプログラム

「旧ひな壇慰労&新会員歓迎夜間例会」

7月のお祝い行事

会員誕生日：高島、渡辺君
結婚記念日：牧本、松田、妹尾、正保、武南、滝沢君

前回6月23日の例会記録

出席の状況

会員数 52名(出席免除者0名 名誉会員1名)
出席者数 31名
欠席者数 21名
出席率 59.61%

ビジター

岡山ロータリークラブ 杉山 慎 策 様

スケジュール

7月 母子の健康月間

7日(火) 18:00~第1回理事役員会
19:00~旧ひな壇慰労&新会員歓迎夜間例会
14日(火) 12:30~例会：就任挨拶①
21日(火) 例会取消し(定款第7条第1節)
28日(火) 12:30~例会：就任挨拶②

8月 会員増強・新クラブ結成推進月間

4日(火) 第2回理事役員会
納涼ビア夜間例会
11日(火) 例会取消し(定款第7条第1節)
18日(火) 12:30~例会：イニシエーションスピーチ
25日(火) 12:30~例会：クラブフォーラム(会員増強)
(訪問リハーサル)

会長挨拶



皆様、こんにちは。

本日はロータリークラブに関連する3つの身近なエピソードをお話しさせて頂き本日の挨拶とさせて頂きます。

先週末、当社の役員がメンバーであるライオンズクラブの周年行事に招待され、参加してきました。ライオンズクラブは皆様ご存じの通り、アメリカシカゴ発祥で元ロータリークラブメンバーによってロータリークラブから20年遅れて発足した歴史ある社会奉仕団体です。

会では、県内外の様々なライオンズクラブから沢山の方が参加しており、楽しい一時を過ごすことが出来ました。

懇親会では、岡山操山ライオンズクラブの会員である吉原冷蔵の吉原社長より声をかけて頂き、先代の吉原春男さんが岡山北ロータリークラブの会員の時にはクリスマス家族会に参加したことや、社葬では沢山のロータリークラブの皆様に見送ってもらった思い出を話して下さいました。

そして、これも先週、運動公園でのラジオ体操で谷本さんにお会いしたのでその後の近況をお聞き致しました。谷本さんは昨年度末にトヨタホームを定年退職されたことを理由に退会されてから、衛星クラブのメンバーにお誘いしてその設立入会のおつもりであるのには変わりがないのですが、なんと従業員数名の測量会社をM&Aしてその会社の社長になってご活躍だそうです。

取引先を見つけるために頑張って営業しているとのことでした。

是非、戻ってきて頂きたいのでこの場にて近況をご報告させて頂きました。

幹事報告

1. 本日例会終了後、13:40より3F「ルビーの間」において「第3回被選理事役員会」が開催されますので、次年度理事・役員の皆様はよろしくお願いたします。
2. 7月の出席表を回覧しますので、ご回答をお願いします。
3. ハイライトよねやま vol.315、他クラブ週報を回覧いたします。



幹事報告

S. A. A.

高島君：ありがとうございます。

馬場君：台湾と国際大会を満喫してきました。会長はじめ同行の皆様、お世話になりました。

岸本君：結婚記念日のお花ありがとうございました。

宮井君：先週の例会は欠席し失礼いたしました。慈海さん、1年間で3回の代打、大変お世話になりました。ありがとうございました。

本日、退任あいさつをさせていただきます。

三宅君：本日、S.A.A.退任挨拶させて頂きます。

滝沢君：出席、久しぶりで申し訳ありません。

米林君：ひな壇の皆様にはあと二回の例会となり、まことにお疲れ様でした。

磯島(慈)君：本日、退任あいさつをさせて頂きます。ゆっくりお休み下さい。



出席報告



スマイル報告

委員会・活動報告



雑誌委員会

委員長 橋田 歳行 会員

「ロータリーの友6月号」の紹介



次週6月30日の例会をもちまして、2025-2026年度の副幹事の職を退任いたします。宮井です。この1年間、皆さまからの温かいご指導と多大なるご協力をいただき、無事にこの日を迎えることができました。まずは心より深く感謝申し上げます。

副幹事としての主な役割は、例会の司会進行、そして幹事のサポートでした。毎週の例会がスムーズに進行できましたのは、ひとえに、会場にお集まりの会員の皆さまが、私の拙いアナウンスに耳を傾け、あたたかくご協力くださったおかげです。

思い返せば失態と反省の多い1年でした。

本来であれば「例会皆勤」をもって職務を全うすべきところでしたが、3回、例会を欠席させていただきました。その際、快く代打を引き受けてくださいました磯島慈海副S. A. A. には、この場を借りて改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

そして、私の失態を挙げればキリがありませんが、特に忘れられないのが、副幹事になりたての昨年7月の出来事です。

仕事の打ち合わせが長引き、例会開始わずか数分前に会場に滑り込みました。息を切らせながら、ゲスト席を見ると——そこには岡山「北西」ロータリークラブの会長・幹事様がビジターでお見えになっていました。

あたふたと準備をしているうちに例会の開始時刻となり、「ただいまより、岡山『北西』ロータリークラブの例会を開催いたします」と宣言してしまいました。

クラブ名を間違えるという前代未聞の失態に猛省し、それ以降は例会前のスケジュールに予約もち、30分前には会場に到着することを心掛けるようになりました。

また、4月の会場移動例会の際にも大きな粗相をしてしまいました。点鐘の準備を完全に失念し、会長に呼び鈴の点鐘を鳴らさせてしまいました。その時の申し訳なさや恥ずかしさは、思い出しても冷や汗がでます。高島会長、本当に申し訳ございませんでした。

正直なところ、私は気の利く人間ではございません。ここで申し上げた失態の他にも、皆さまが「しょうがないな」と笑いながら、水に流してくださった私の粗相が、無数にあったことと思います。それらの一つひとつ、温かく包み込み、支えてくださった会員の皆さまの心遣いに、改めて感謝を申し上げます。

この1年、ロータリークラブに所属していたからこそ得られた貴重な体験をいくつかさせていただきます。その中でも印象深かった出来事を2つご紹介します。

一つ目は、倉敷ロータリークラブ様からお招きいただき、卓話をさせていただいたことです。他クラブでの卓話はもちろん、訪問も初めてで大変緊張いたしました。当日は高島会長をはじめ、米林さん、廣野さん、吉岡さんが、わざわざお応援に駆けつけてくださいました。アウェーの地で先輩方のお顔を拝見した時のあの安堵感と心強さは、言葉では言い表せません。お忙しい中、足を運んでいただき本当にありがとうございました。

二つ目は、高島会長、廣野委員長、北西RCの藤島さんと、カンボジアでの国際奉仕事業に参加させていただいたことです。現地での活動を通じ、国際奉仕の意義を肌で感じることができました。寝食を共にしたメンバーの皆さまとの絆も深まり、非常に楽しく、何物にも代えがたい貴重な体験となりました。

こうした素晴らしい経験は、すべてロータリーに所属したからこそ巡り合えたものです。ただただ感謝するばかりです。

今年度、副幹事という立場でクラブの運営を内側から見つめたことで、ロータリーという組織に対する理解が、更に少し深まりました。

次年度は宅建協会の役職が回ってくることもあり、どうしても例会をお休みしてしまう日が出てくるかもしれません。しかし、出席できる限りの例会に出席し、次年度以降も岡山北ロータリークラブの発展に貢献していきたいと考えております。

さて、先日、次年度の副幹事を務められます難波さんへ、業務の引継ぎを完了いたしました。難波

さんは非常にスマートな方ですので、私のような「北西RCと言い間違える」ようなことも、「呼び鈴で点鐘させる」ようなこともなく、全ての業務をそつなく完璧にこなされると確信しております。

難波さんは引き継ぎの際、「すでに業務カレンダーにすべての例会予定を入力しました。ロータリーの優先順位を最上位に上げて、しっかり出席します」と、大変頼もしい決意を語ってくれました。ぜひ、次年度の難波副幹事の活躍を、皆さまあたたかく応援してあげていただきたいと思います。

最後になりますが、高島会長、砂田幹事をはじめ、ひな壇の皆さまと、会員の皆さまに改めて感謝をお伝えして退任の挨拶とさせていただきます。

1年間、本当にありがとうございました。

「退任挨拶」

S. A. A. 三宅浩司 会員



皆様、一年間大変お世話になりました。

本来であれば、今年度は、皆木会員が担われる予定でありましたが、ご退会に伴い急遽私が拝命することとなりました。困惑はありましたが、幸いにも過去に副S. A. A. を経験していたこともあり、お引受けすることに大きな迷いはありませんでしたが、会場監督という重要な役職を果たすにあたり、自分が本当に適任であったかという思いは、一年間を通じて常に心のどこかにありました。

それでも一年を振り返りますと、会員の皆様の温かいご理解とご協力に支えられ、無事にこの日を迎えることができました。高島会長はじめ理事・役員の皆様をはじめ、会員の皆様お一人おひとりのお力添えの賜物であり、心より感謝申し上げます。

S. A. A. の役割は、例会の秩序と品位を保ち、会員の皆様が気持ちよく参加できる環境を整えることにあります。

その責務を十分に果たせたかどうかは皆様のご判断に委ねたいと思いますが、私自身にとりましては、多くの学びと気づきをいただいた大変貴重な一年となりました。

さて、来期の会長テーマは「温故知新」と伺っております。古きをたずねて新しきを知るという言葉のとおり、私たちのクラブがこれまでの先輩諸兄姉によって築き上げられた伝統と歴史を大切にしながら、新たな時代にふさわしい活動や価値を創造していく一年になることを期待しております。

本年度S. A. A. として務めさせていただいた経験もまた、私自身にとっては「温故知新」の実践であったように感じております。先輩方から受け継いだS. A. A. の精神を学びながら、自分なりに役割を果たそうとした一年でした。

最後になりますが、次年度の会長はじめ理事・役員の皆様のご活躍と、クラブのさらなる発展、会員の皆様のご健勝を祈念申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。

一年間、本当にありがとうございました。

「副S. A. A. を一年間務めさせていただき」

副S. A. A. 磯島慈海 会員



皆さま、まずはこの一年間、副S. A. A. という役職をお任せいただき、心より御礼申し上げます。

高島会長、そして、三宅S. A. A. のもとで働かせていただきました。これは私にとってとても貴重な経験でした。

一年を振り返ってみると、三宅S. A. A. の言うことだけを聞いて活動してきた一年でした。なので、私の行動はすべて三宅S. A. A. の指示通りでした。三宅S. A. A. 的確な一つ一つの指示をありがとうございました。

ただ、そのおかげで、S. A. A. という役割の本質や、例会運営の奥深さ…ではないところをたくさん学ばせていただきました。

■ スマイルへのご協力に、心から感謝

会員の皆さまには、例会の円滑な運営、そして奉仕事業のために、スマイルへのご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

スマイルには、皆さまの日常の小さな出来事から、時には「それ、ここで言って大丈夫ですか？」というエピソードまで寄せられました。しかし、その一つひとつが奉仕の心となり、浄財となり、4奉仕委員会の事業を支えてくださいました。

スマイルが少ない日には、私が「今日は少し寂しいです」とお伝えするだけですぐに応えてくださる。その姿を見て、ロータリーの友情は、言葉よりも行動に表れる。のだと実感しました。

行動くださった皆さまのあたたかさを、胸の中でじんわりと感じていました。

■ 例会運営で気になったことを、少しだけ

この一年、例会の運営で気になったことが一つあります。それは――

携帯電話の着信音がよく鳴る。

しかも、鳴るタイミングが絶妙で、

- ・会長挨拶のいいところ
- ・講師の卓話が深まってきたころ
- ・会場が静まり返った瞬間 に限って鳴るのです。

あれは、もはや“芸術”の域です。

ただ、会場監督としての職務が徹底できなかったことは、私の反省点です。心よりお詫び申し上げます。

そして、お願いがあります。

例会や他の会合に参加される際、2分前告知のアナウンスのときに、“一目だけ”マナーモードの確認をお願いします。

たった一目確認するだけで、例会の空気が守られます。そして、講師の方の集中力も守られます。

例会は、親睦の場であると同時に、会長の挨拶、講師の卓話という“学びの場”でもあります。

せっかく参加されるなら、自分のためにも、仲間のためにも、より良い環境で聞いていただきたい。その思いを込めて、お願い申し上げます。

■ 副S.A.A.としての一年で学んだこと

この一年、私は

- ・会場の空気を読む
- ・スマイルの種を見逃さない
- ・そして、三宅S. A. A. の指示を理解する という三つの力を鍛えてきました。

特に三宅S. A. A. の指示は、短く、的確で、たぶん深い意味があると思われる、まるで“ロータリー版・禅問答”のようでした。

「あれを、こうしておいて」「はい、わかりました」(※実は全然わかっていない)

しかし、その中で学んだのは、そんなに重く考えず、切り替えて楽しくいこう、ということ。

そして、例会に参加された皆さまの姿勢、言葉、行動から、多くのことを学ばせていただきました。

■ 最後に

高島会長と会員の皆さまには一年間、副S.A.A.を務めさせていただき、本当にありがとうございました。会員の皆さまの温かいご協力、そしてロータリーの友情のおかげで、私は一年間、楽しく、そして成長しながら務めることができました。

これからも、例会がより良い場となるよう。そして奉仕の心がさらに広がるよう、微力ながら力を尽くしてまいります。

一年間、本当にありがとうございました。

RI国際大会(台湾・台北)

6月13日(土)～17日(水)

台湾の台北で開催されておりましたロータリー国際大会に参加して、無事に帰国してまいりました。まず、公式行事として開催されました、RI理事主催の日本人朝食会に参加いたしました。

会場は台北市内を一望出来る高台に建つ圓山大飯店の豪華絢爛な宴会場に約1,000人もの方々が参加される非常に熱気あふれる会場でした。

私たちは6時過ぎには到着して早めに準備したつもりでしたが、メインの会場には入りきれず、テラス席の最後尾となってしまいました。

結果としてこれが素晴らしいご縁に繋がりました。同じテーブルに宮城県多賀城ロータリークラブの皆様がいらっしゃり、さらに松本パストガバナーと同期にあたる、地区初の女性ガバナーの方とも一緒することができました。多賀城ロータリークラブでは今季、国際奉仕に特化した衛星クラブを設立して、国際奉仕事業を行っているなどのとても当クラブにも参考になるお話を聞かせて下さいました。

少ない会員でも熱意溢れるクラブである印象を受けました。

大変有意義な時間を共有し、帰国後もメールのやりとりをするなど深く懇親を深めることができました。席が最後尾になったからこそこの出会いに、改めてロータリーの縁と繋がりの素晴らしさを感じる事となりました。

また、今回の大会では、どうしてもフランチェスコ・アレツォRI会長にご挨拶をしたいという強い思いがありました。お席に近づいてみますと奥様も一緒でしたので、失礼を承知でご挨拶を申し上げ、(ボンジョルノ～グラッチェミーレ) 写真撮影をお願いいたしました。私一人で撮っていただくのも勿体ないと思い、一緒に参加した当クラブの仲間と、そしてアレツォ会長の奥様も一緒に写真に収まっておりました。世界的リーダーでありながら、気さくに、そして大変優しく応じてくださり、その温かいお人柄にすっかり魅了されました。

しかし、午後から会場を台北ドームに移動して参加した開会式でのアレツォ会長のお姿は、朝の気さくな印象とは全く違い、非常に力強く情熱的で、約3万7,000人の参加者を前にしてのスピーチは、まさに圧巻の一言でした。

まるでこの日会長に就任し、今から新しいアレツォ会長の年度が始まるかのごとくです。

特に熱く語っていたのは、ポリオ根絶への決して揺るがない決意です。資金調達が困難な厳しい現状を率直に認めつつも、「たとえ世界がこの問題に関心を失ったとしても、私たちはポリオ根絶の取り組みを決してやめない」と力強く宣言されました。その不屈の姿勢に、あらためて心を打たれました。

また、今年度のテーマである「Unite for Good (良いことのために団結しよう)」にも触れられ、あ



宮城県多賀城RCの皆様と



フランチェスコ・アレツォRI会長ご夫妻と

らゆる奉仕活動やクラブの結束の基盤にあるのは、まさに「友情」と「信頼」であると強調されました。

今回、台北での国際大会に参加し、世界中から集まったロータリアンとの交流や、アレツォ会長の熱いメッセージを通じて、私自身、ロータリーの「友情と信頼」の力を再確認いたしました。

朝食会での偶然の出会いから得た新しい友情、そしてクラブメンバーと共に経験した素晴らしい時間は、まさにこの「友情と信頼」の証です。

この国際大会で得た学びや感動、そして世界規模の熱量を、これからの岡山北ロータリークラブの活動にしっかりと還元し、皆様と共に「良いことのための団結」を実践してまいりたいと思います。

(会長 高島 浩)



圓山大飯店のロビーにて



圓山大飯店最上階テラスからの眺め



天井には龍の彫刻の朝食会場



坂口ガバナーと



賴総統のご挨拶



次年度 Babalola 会長のご挨拶



中華のフルコースで満腹



朝からフルコース



朝食会を終えて壇上にて



開会式を終えて台北ドームにて



玉野RC藤原さん谷さん合流



玉野RC谷さんのご挨拶



パンダ貸切り



手乗りパンダ



みんなでパンダと一緒に